



すぎさん

<http://www.suginami-school.ed.jp/sugi3shou/>

令和5年 7月号
杉並区立杉並第三小学校
〒166-0003 杉並区高円寺南1-15-13
TEL 03-3314-1564
FAX 03-3314-1449

「意義を伝える」

副校長 板垣 聡美

毎年、梅雨の時期を前に「子どもたちにとって我慢の月が始まるな」と思います。校内で過ごすことが多くエネルギーを発散する場がありません。校舎は湿気で滑りやすくなるため、より安全に過ごすよう伝える事が多くなります。今年の梅雨は日本の気象現象の一つだから「しょうがない」「我慢しましょう」にはしたくないと思いました。

毎月、最終週の全校朝会は副校長先生の話になっています。5月29日(月)は「梅雨」の話をしました。「雨の日は好きかな?嫌いかな?」そんな問いから話をスタートしました。

梅雨の言葉の由来、この時期雨が降り続くしくみ、梅雨の注意点、梅雨があるといい点等話をしました。低学年には難しい内容もありましたが、みんな真剣に聞いてくれました。「梅雨の時期を工夫して楽しく過ごしてほしいと願い話を終えました。すると、校内での過ごし方を主体的に話し合う学級、教室内で折り紙や塗り絵で楽しそうに過ごす学級が見られました。図工の先生は、各学年に雨をテーマの学習に取り組ませ素敵な作品を校内に展示してくれました。今年は、なんだかうきうきする梅雨を過ごすことができます。

また、私は毎日、全学級の授業を見に行くように心がけていますが、ある日授業を観ていると「どうして来てるんですか」と質問を受けました。

6月26日(月)の全校朝会は「学校の先生方のお仕事」の話をしました。分かっているだろうと思っているのはこちらだけで、私たち教員の誰が何のためにどんな仕事をしているのか、子どもたちには分からないことがたくさんあるのではないかと思われたからです。

・担任(通常学級・しいのみ学級)、専科、すぎさん教室の先生の紹介

・低・中・高学年の副担任の先生について、すぎさん教室の先生の仕事や杉三小にいる日

・仕事内容

みんなと学習や活動をする。そのために授業の準備や研修・研究会に参加し勉強する。日直や看護当番、委員会・部会・行事担当等がある。保護者や地域の方々と連携している。

・ちょっとわかりにくい管理職の仕事

最後に「担任の先生だけがみんなの先生ではなく、先生方全員がみんなの先生」どの先生もみなさん一人一人を応援していますと伝えました。

翌朝、エリアの巡回指導に出かけるすぎさん教室の先生に子どもたちから「行ってらっしゃい」「気を付けてね」と声がかかりました。今までは、先生方を認識しきれなかった子もいて、なかなかあいさつができない子が多くいました。しかし、意義が分かった子どもたちは、すぐ自分で考え行動していました。子どもたちの吸収する速さと活用する力の大きさにとても感心しました。

今の子どもたちは、情報過多の中において、多くの情報に触れています。しかし、たくさんある中でどれを使えばいいのか迷っていたり、意味を正しく理解せずに使っていたりすることもあります。私たち大人は子どもたちの実態に合わせて分かる言葉でかみ砕き、『物事の意義』をしっかり伝えたり、選択したりできるようにすることが必要だと思いました。その先は、子どもたち自身が自分で考え判断し行動できる子にしていきたいと思えます。杉三小にそんな姿の子が少しずつ増えてきました。